

トモネット英語塾 週刊英語レポート講座



The great end of life is not knowledge but action.

(暑そうだったので、「かさこ地藏」のようにしてみました 笑。)

著作権について

『トモネット英語塾、週刊英語レポート講座』（以下、本書と表記）は著作権法で保護されている著作物です。本書の使用に際しましては、以下の点にご注意ください。

1. 本書の著作権は、トモネット英語塾にあります。
2. トモネット英語塾の書面による事前許可なく、本書の一部または全部をあらゆるデータ累積手段（印刷物、電子ファイル、ビデオ、テープレコーダー等）により複製、流用および転載、転売することを禁じます。

使用者許諾誓約書

本契約は、本書を購入した個人・法人（以下、甲と称す）と、トモネット英語塾（以下、乙と称す）との間で合意した契約です。本書を甲が受け取り、パッケージを開封することにより甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的

乙が著作権を有する本書に含まれる情報（ノウハウ等）を 本契約に基づき甲が独占的に使用する権利を有するものです。

第2条 禁止事項

本書に含まれる情報は、著作権によって保護されています。甲は本書から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・公演活動および電子メディアによる配信により一般公開することを禁じます。特に第三者に渡すことを厳しく禁じます。甲は、自らの事業、所属する会社および関連組織（販売店・代理店等）においてのみ本書に含まれる情報を使用できるものとします。

第3条 契約の解除

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合は、乙は使用許諾契約書を解除できるものとします。

第4条 損害賠償

甲が本契約の第2条に違反した場合、本契約の解除に関わらず、甲は乙に対し、その違約金として、違反件数と販売価格を乗じたものの15倍の金額を支払うものとします。

第5条 責任の範囲

本書の情報の使用責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても、乙は一切の責任を負いません。

「トモネット英語塾、週刊英語レポート」

著者(著作権者): 中西 智裕

■ はじめに

こんにちは、中西です。

すっかり秋模様の今日この頃、いかがお過ごしでしょうか？

早いもので、シルバーウィークも終わり、9月も最後の一週(3日)となりました。
体調管理には気をつけて楽しんでいきましょうね！！

さてと、スピコンの感想を書き終えました。参加される度に、力を付けてきているのが分るので、聞いていて嬉しい限りです。(アドバイスをさせて頂くのが、月を追うごとに難しくなっているのです。)

以前、一部のメンバーにはお伝えしましたが、ランディ・パウシュの「最後の授業」が今回のスピコンでアップされていたので、それを紹介しておこうと思います。

あえてコメントはしませんが、見たことがないという場合は、今回のレポートを読み終えた後にでもチェックしておいて下さい。少し長いですが、今回のスピコンのお題、『格言』同様、学べることは非常に多いと思います。

興味があれば、ランディ・パウシュさんのことも調べて見るといいです。分る人には分ると思います。

※スカイプ会議を週末(昨日)に行いました。プラチナ塾生、VIP塾生は必ず聞いておいて下さいね。大事な話です。
必ず取り入れて下さい。

YouTube(字幕なし)

http://www.youtube.com/watch?v=ji5_MqicxSo (1 時間 16 分)



日本語字幕(1~3)



<http://www.youtube.com/watch?v=nrFMRuB2lbA&NR=1> (8 分 7 秒)

http://www.youtube.com/watch?v=yw_PKpaJbT0&feature=channel (8 分 35 秒)

<http://www.youtube.com/watch?v=yFm0A3ETzZY&feature=fvw> (7 分 20 秒)

■ 感情のコントロールが現実をコントロールする。

怒り、悲しみ、笑い、喜び。

こういった感情は、誰もが毎日のように経験している。

その感情はあまりにも強いのでそれが合っているのか間違っているのか？

何ていう考えは一切浮かばない。

何故なら、あなたが体験しているその「強い感情」は、本物だからだ。

自分にとって本物なのに正解も不正解もあるか！

自分にとって本物なのに確かめる必要なんてあるのか！

となる。

感情は強い。

脳のどこそこの回路よりも何倍も早いスピードで感情は一気に広がる。

時には、何故、自分がイライラするのか一瞬、分からなくなる事もある。

なんとなく、イライラする。

こういった事をあなたも経験した事があるはず。

早起きして、気分よく散歩している最中にハトのう〇こが空から降ってきた感じ。

感情は、一瞬で全身に広がる。それは、感情の伝達スピードが考えるスピードよりも圧倒的に早いからだ。

ところが、自分にとって本物の感情。しかし、それが常に正解だとは限らない。

事実とは、全く違う事で僕らは日々、泣いたり笑ったりしている。

「解釈」と言う色眼鏡を通して、僕らは勝手に事実を作り出す。

そして、その新しく作った事実を現実だと思い込む。朝寝坊をして、大事な会議に間に合いそうもない。もう終わりだ…と考える。しかし、一方で、朝からのんびり喫茶店で平和だなーと言いながらくつろいでいる人もいる。

人にはそれぞれ事実があり、現実がある。

そして、その色のついた現実に対して、
泣いたり笑ったり、怒ったり悲しんだりしている。

もし、あなたが自分の感情をコントロールしたいと思うなら、
常にこの事を覚えておくといい。

自分が思っている現実とは、その他大勢が目に見えている現実とは違うという事。

必ず、色眼鏡をかけて、物事を見ているという事実。

その「色」があるからこそ僕らは喜び。
その「色」があるからこそ僕らは悲しむ。

しかし、その「色」は自分自身が塗ったもの。

変えられないものではない。

外部の環境とは違う。外部の環境や、他人を変える事はできない。

僕らが変わる事ができるのは、唯一、自分自身。

そして、感情の元となる「色」を変えることができれば、あなたは現実を一瞬で変えることができるようになる。

どんな色にでも変える事ができる。
好きな色に変える事ができる。

その色を、怒った色や悲しい色ではなく
楽しい色、嬉しい色に変える。

毎日、ほんの少し意識することで、
毎日、ほんの少しトレーニングすることで、
毎日、ほんの少しの習慣を変えてやることで、
毎日、ほんの少し言葉を変えることで、

それは可能になる。

たったそれだけであなたが毎日感じる感情はずいぶんと変わる。

そういう意味でも、ランディ・パウシュに学ぶことは大きいはずだ。

Experience is what you get when you didn't get what you wanted.
『経験とは、求めていたものが手に入らなかった時に手に入るものだ。』

そうやって人は進化する。

もし、あなたの感情が意図的にコントロールできるものだとしたら、
それだけで、毎日がハッピーになる確率は高くなるような気がしない？

■ out of order?それとも broken?

次の日本語を瞬間的に英語にして声に出して下さい！

今日は大事な会議。

あなたはそんな日に限って、寝坊をしてしまう。

この世の終わりかのように青ざめた顔をして、会議に到着。

しかし、会議にはまだほとんどの人が参加していない。

あなたは自分の腕時計を見ながら頭が真っ白。

そんな時、近くにいた同僚がこんな一言。

「その時計、壊れてるよ。」

それでは、声に出して英文に見てください。

解説は次項です。

今回用意した英文はこの2つ。

The watch is **broken**.

The watch is **out of order**.

broken も out of order、これはどちらも「故障している」という状態を表現する便利な表現ですが、使う状況、ニュアンスは違います。

以前、週間英語レポートでも説明しましたが、break が持つ基本的な意味、ニュアンスは、外部から何かしらの力を加えて、2 つ以上に分散させることだと説明しましたが、(紙をビリッと破るあの感じです。)

broken は、

The watch is broken.のように、比較的小さな物が故障している状態を表します。(骨を折ったときなんかも broken で表現しますよね。)

broken /brʊkən; NAmE broʊ/ adj.

DAMAGED

1 that has been damaged or injured; no longer whole or working correctly: *a broken window / plate* ◇ *a broken leg / arm* ◇ *pieces of broken glass* ◇ *How did this dish **get broken**?* ◇ *The TV's broken.*—
see also BROKEN HEART

一方、out of order は、「順番や秩序からはずれる」と辞書に書いてありますが、

これは、エレベーターや、公衆電話、展望台などにある望遠鏡(?)などが「公共のもの」が故障していることを表す「決まり文句」なんですね。

out of order [not before noun] (*rather formal*) (of a machine, etc.) not working correctly: *The toilets are all out of order.*

こんな感じのものを海外でよく見かけます。



なので、時計が壊れているという場合は、

The watch is **out of order**.とは言わないわけです。

もし、The watch is out of order.と言った場合、イメージするとしたら、学校や駅などにある巨大な時計かなー、と想像してしまうわけです。

それから動いている機械、たとえば車などが故障して動きを止めてしまうのは、
beak down を使って、

My car broke down on the road.

となるわけですね。

broken-down [usually before noun] in a very bad condition; not working correctly; very tired and sick: *a broken-down old car/horse*

ニュアンスとしては、出発した時には何ともなかったのに、途中で止まってしまった、壊れてしまったという感じです。

(逆に調子よく絶好調だぜ！という場合は、
My car is still in good running order.という具合で表現します。

車が good running の状態(in)にあるというわけですね。)

それでは、今回は以上です。

身近な表現(単語)だけに、正しく使えるようにして下さいね。

一度、読んだだけでは覚えられないのは、当然です。だからこそ、イメージして絵として覚えることを僕はお勧めしていますが(今回のエレベーターの故障の写真など)、

それでも覚えられない場合は、とにかく何度も繰り返す、リピーティングの作業を意識的に行うことです。

筋肉と同じで、繰り返し「同じ情報」を脳にインプットすることで、記憶の質は必ず向上しますからね。第二言語を習得した人が第三言語を習得するのに掛かる時間は第二言語の時よりも短いというのは、こういう理屈です。

言語を覚える回路、記憶をする回路、使えば使うほど強くなります。

学生時代は、あんなに覚えられたのに、と言う前にまずは記憶する作業を増やしてみることです。

あなたの英語が上達しないわけがないと、僕は心の底からそう思っています。

質問があれば、いつでも頼ってきて下さい。

全力でサポートさせていただきますからね！

■ 最後に

The great end of life is not knowledge but action.

Thomas H. Huxley

人生の大きな目的は、知識を得ることではなく、行動できることだ。

自分が得た知識をいかに実学として身につけるのか？

一番簡単なのは、それを人に教えるということです。

というのは、中西の性格です。

あなたはのでしょうか？

そして、今日の週間レポートから実践できることを1つ挙げるとしたら？

See you next week!!

『トモネット英語塾』

塾長 中西 智裕